

関東地区会開催

平成24年2月28日、パンパシフィック横浜ベイホテル東急において、関東地区会（代表幹事：梶本繁昌、(株)アイネット 代表取締役社長）が48名の参加を得て開催された。

冒頭、平成23・24年度の関東地区会代表幹事に就任された梶本代表幹事から、来賓及び会議のスケジュールの紹介があり、昨年3月の大震災から1年になろうとしているが、今年度は原発事故・電力問題、タイの大洪水、円高などかつてない激動の年であるといえる。IT業界も直接、間接的を問わずこれらの影響が出ていると思っているが、一方で、クラウド関連ビジネスという明るい話題もある。クラウドコンピューティングは、BtoBはもちろんのこと、一般消費者をも巻き込んだ大きな流れとなってきたおり、これによって社会的ニーズが飛躍的に上昇することになる。JISAの正式名称は、情報サービス産業協会であり、すなわち、我々会員会社はサービス提供会社である。チャンスはITに一番近い我々の目の前にあるのではないか。本日の会議・講演が、会員企業の発展の一助になれば幸いである旨の挨拶があった。

経済産業省商務情報政策局情報処理振興課係長の竹田怜史氏から、情報サービス産業の動向と経済産業省の情報政策として、情報サービス産業の概況及び社会におけるITの役割とニーズの変化、クラウドコンピューティングが変える生活の将来像及びクラウド普及に伴う情報サービス・ソフトウェア産業の業界構造変化等、ITの現状と今後について、融合新産業の創出策の基本的視座等の概要について説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向（JISA基本統計2011、DI調査、特サビ動態統計等）の説明の後、JISA Awards2012の受賞者、CO2削減自主行動計画、電力需給対策、集团的消費者被害回復に係る訴訟制度、社会保障・税番号制度等最近のJISA活動状況に関する報告があった。

休憩をはさみ、フリージャーナリストの田中克己氏（元日経コンピュータ副編集長、日経ウォッチャーIBM 版編集長、日経システムプロバイダ編集長）による「しっかりしろ、日本の IT サービス産業」と題しての講演が行われた。田中氏は、IT 投資の推移、主要 IT 企業の業績及びクラウドコンピューティングの導入例をいくつか紹介し、IT 産業は新しいビジネスモデルの創出を急ぐべきであると強調し、最後に IT 業界には、「感動」「感謝」「感激」の 3K を 24K(金)の輝く職場にしてほしいと話された。

(菊池)